

# 252号

令和5年12月発行

## みどりのアスパラガス



北広島市しょうがい児者を持つ親の会 発行責任者 加藤裕子

<http://oyanokai.sunnyday.jp/>



🎅～賛助会員ご入会ありがとうございました～🎅

(敬称は省略させていただきます)

【団体様】 特定非営利活動法人フェアリー

石狩地区手をつなぐ親の会連絡協議会 研修会 2023年10月20日 江別市民会館にて

### いろいろな形の就労について —障がいのある方の卒業後の暮らしを考える—

えべつ障がい者しごと相談室すてら 川田 純 氏が、コーディネーターとなり、3つの事業所の方々の発表をお聞きしました。

(1)社会福祉法人長井学園 錦町ワークサポート陽だまりの郷(ひだまりのさと)

就労移行支援(定員6名)・就労継続支援B型(定員20名)のサービスを提供されています。「それぞれの利用者が活躍できる事業所」という理念のもと、活動しています。

作業は、外に出る事が多く、薪割り、パンの製造、食事の盛り付け、食器洗い、清掃作業、リサイクル工場(北広島)、草抜き、玉ねぎの袋詰めなどをしていて、工賃の他に年2回のボーナスもあります。

(2)就労継続支援A型コープ・パートナーズ石狩

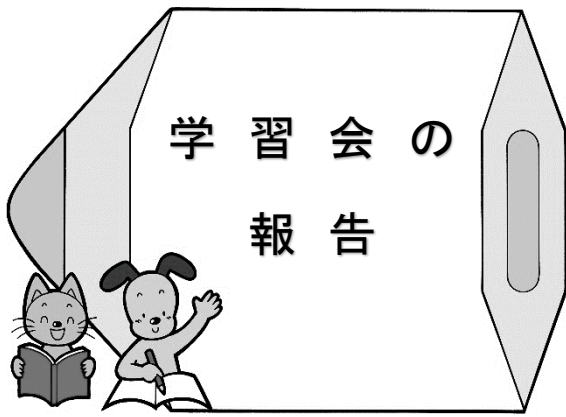
A型事業所を設立の経緯としては、高齢障がい者への対応、環境整備が求められている事。地域の社会資源として、札幌市以外には障がい者雇用の場が限定的であり、職種や雇用形態に選択肢が少ない状況。札幌市とそうではない地方都市と格差は大きく、社会資源も不足がちである。

江別市・石狩市で定員各20名。時給960円(北海道最低賃金)。今現在はグループ会社の工場で作業を実施中。高等支援学校を卒業後の女性の方の現在にいたるまでの事例をあげ、支援していく中、子供の自立を希望しながらも、手放せない親心や、本人の福祉慣れ(支援慣れ)している感じが気になったそうです。就労支援開始後6か月目にパートタイム求人へチャレンジし内定をもらい、就職とGH入所のタイミングをずらして入所。相談支援員、家族との関係がしっかりとれていた。直接見て体験する事、事業所が他の福祉サービスと連携しているかも大事と話していました。

(3)特定非営利活動法人ユージュアル さぼーとセンターこねくと

自立訓練・就労継続支援B型・就労移行支援・就労定着支援の事業所。自分に必要なサービスを知り、生活をより豊かに出来る福祉サービスを選択してほしい。その人らしい自立生活に向けた準備をすすめて行きましょう。福祉サービスは、経験の機会を奪わず、どんな手伝いが出来るかを考えているそうです。

中川



## 第1部 親あるあいだに考える 親なきあとのこと

～障がい福祉を取り巻く現状と課題について～

講師 よつば社会保険労務士事務所 社会保労務士・北海道手をつなぐ育成会監事 岡田光次郎氏

## 第2部 親はなくとも 子は育つ

～互いに支えあう地域資源をどうつくるか～

講師 (社)フロンティア常務理事・北海道手をつなぐ育成会会長 佐藤春光氏

親亡き後についての学習会を10月12日木曜日北広島市中央公民館にて開催致しました。

1部は、親あるあいだに考える 親なきあとのこと 講師 社会保険労務士・手をつなぐ育成会監事 岡田光次郎氏、2部は、親はなくても子は育つ 講師 (社)フロンティア常務理事・手をつなぐ育成会会長 佐藤春光氏にお願いしました。

当日は、18名(会員15名一般3名)が参加してくれ、為になるお話を聞くことが出来ました。

講演後、講師と会員で昼食を取りながらの交流会で、ざっくばらんにお話をし、楽しいひとときを過ごせました。無事に学習会を終了することができ、ホッとしています。お手伝いしてくれた皆さん、参加してくれた皆さん、心から感謝しています。ありがとうございました。

南

10月12日(木)中央公民館にて学習会に参加させて頂きました。1部2部構成でテーマは『親亡き後』。そろそろ自分が子供のために動けなくなる前にと考えている時でしたので興味深く拝聴させて頂きました。

1部で利用できるサービス機関などを、2部で人と人の繋がりについてお話させて頂きました。共通するのは1人で悩まない、助けてくれる人は必ず近くにいる、その為にもこういう会はとても大切であり、そして障がい児者の親だけの会にせず、核として働きかけていく事の大切さをお話頂きました。

子供が学校に通っていた頃は何のサービスも理解も無い中、先輩の親御さんと駆け回っていたなと、当時を振り返り懐かしく思いました。

是非また学習会に参加させて頂き学ばせていただきます。ありがとうございました。

國岡



## （一社）全国手をつなぐ育成会連合会より情報をいただきました

日ごろから、全国手をつなぐ育成会連合会の活動へお力添えを賜り、厚くお礼申し上げます。  
さて、今回はお知らせを3件お送りいたします。いずれも重要な情報となりますので、少し長くなりますが、ご覧ください。

### (1) 久保顧問の叙勲について

11月3日(祝)に公表された令和5年度秋の叙勲において、全育連の久保顧問(前会長)が「旭日小綬章」にて、叙勲されました。

(ご参考:厚生労働省関係の叙勲情報)

[https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_35838.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_35838.html)

また、これに伴って(一社)全国手をつなぐ育成会連合会が栄転評価団体へ復帰できることとなりました。ただし、法人格を手放していた時期もあることから、評価期間は次のとおりとなります。正会員の皆さまから叙勲申請などを進めていただく際にご参照くださいますと幸いです。

【全国手をつなぐ育成会連合会の栄転評価団体としての評価期間】

「(社福)全日本手をつなぐ育成会」時代から平成26年3月31日までの期間および「全国手をつなぐ育成会連合会」の設立後の平成26年7月24日以降の期間を通算して評価対象とする(逆に、平成26年4月1日から7月23日までの期間は評価対象としない)

### (2) 旧優生保護法裁判(強制不妊裁判)の署名について

すでに報道等でご案内のとおり、旧優生保護法裁判(強制不妊裁判)は最高裁の大法廷で審理されることが決まりました。この時機をとらえ、全育連としても関係団体と連携して公正な裁判を求める署名活動を展開することといたします。

(ご参考:大法廷での審理を伝える報道)

<https://news.yahoo.co.jp/articles/d297025f07dc093385bee6d2d12bf1f18843595a>

第2回切 → 令和6年 2月29日(木)発送分まで

大変に重要な局面ですので、1人でも多くの署名をお寄せくださいますよう、お願い申し上げます。

### (3) 障害児支援部会の報告

10月30日(月)に、こども家庭庁の「第3回障害児支援部会」が開催され、小島副会長が出席いたしました。発言要旨を添付いたします。

(第3回障害児支援部会のページ)

[https://www.cfa.go.jp/councils/shingikai/shougaiji\\_shien/M41PkBaj/](https://www.cfa.go.jp/councils/shingikai/shougaiji_shien/M41PkBaj/)

以上、よろしくお願い申し上げます。

又村 あおい(またむら あおい)



\* 上記の(2)につきまして、署名用紙を入れさせていただきましたので、ご協力お願い致します。手渡しでいただける方は、2月の青空会までに中川まで。取りまとめ、道育成会へ送ります。



# 恵庭市における障害者虐待事件について

すでに報道等で取り上げられ、ご存じの方も多いと思います。

恵庭市内の牧場で数十年にわたり住み込み働いていた障害者3名が、2023年8月に、恵庭市と牧場経営者に対し、損害賠償を求める裁判を起こしました。

11月28日(火)に第一回口頭弁論が札幌地方裁判所において開かれました。その一週間前に恵庭市会館にて開かれた「障害者虐待事案の真相解明と公正透明な行政を求める恵庭市民集会」に参加してきました。事案説明等伺い、現段階で公表されている詳細を知ることができました。

その集会の中で、参加者の市民の方から「夫が国勢調査であの牧場へ行ったときに、その現状を見て、あそこはひどい所だと言っていた。周囲の人は、もう20年以上前から知っているし、聞いていたことだと思う。」と発言があり、衝撃を受けました。

今回、恵庭市、牧場経営者が被告ではありますが、ご本人たちの状況を見聞きしたりしていた人たち皆の無関心さも、長年に渡って虐待が埋もれてしまった要因ではないかと思いました。

ニュース動画や、恵庭市「障害者虐待」隠ぺい事件弁護団事務局長 中島哲弁護士のコラム(札幌合同法律事務所)でも知る事ができます。

また、認定特定非営利活動法人 CALL4が運営するインターネットサイトで、この事件のケースページが公開され、寄付金募集が開始されました。興味のある方は【CALL4】で検索してください。

中島哲弁護士は集会の中で、この事件の当事者3名であるが障害者全体に関わる事件であると述べていました。恵庭市は争う姿勢を示していますが、仮に、行政が障害者虐待を認識しながらこれを隠蔽、放置、容認していた

ことが真実であれば、これほど衝撃的なことはありません。

次回第二回口頭弁論は、令和6年1月30日13:30です。

斉藤 圭美



## 活動報告

10月12日	学習会・青空会	
10月13日	「北ひろしま福祉のつどい」前日準備 参加	井上
10月14日	「北ひろしま福祉のつどい」参加	井上
10月20日	石狩地区手をつなぐ親の会連絡協議会 研修会参加	加藤・中川・山本
10月31日	「北ひろしま福祉のつどい」第4回実行委員会 出席	井上
11月1日	広報北広島に会員募集掲載	井上
11月9日	役員会・市役所福祉課鈴木課長・角田主査来会	
11月9日	自立支援協議会全体会 出席	加藤・斉藤
11月18日	北海道自閉症協会三役・事務局会議	斎藤
11月27日	保健福祉計画検討委員会 障がい福祉部会・全体会出席	加藤

この会報は、会の趣旨に賛同下さる方々に、私たちの活動を広く紹介する目的で発行しています。

ほかの目的に使用しないよう、また、破棄する場合は取り扱いにご注意下さるようお願いいたします。

会報担当 中川 斉藤 井上